

「新型コロナウイルス感染拡大による健診受診者の動向と健診機関への影響の実態調査結果」

2019 年度～2020 年度

(一社)日本総合健診医学会
(公社)全国労働衛生団体連合会

図1 健診項目別 実績比較

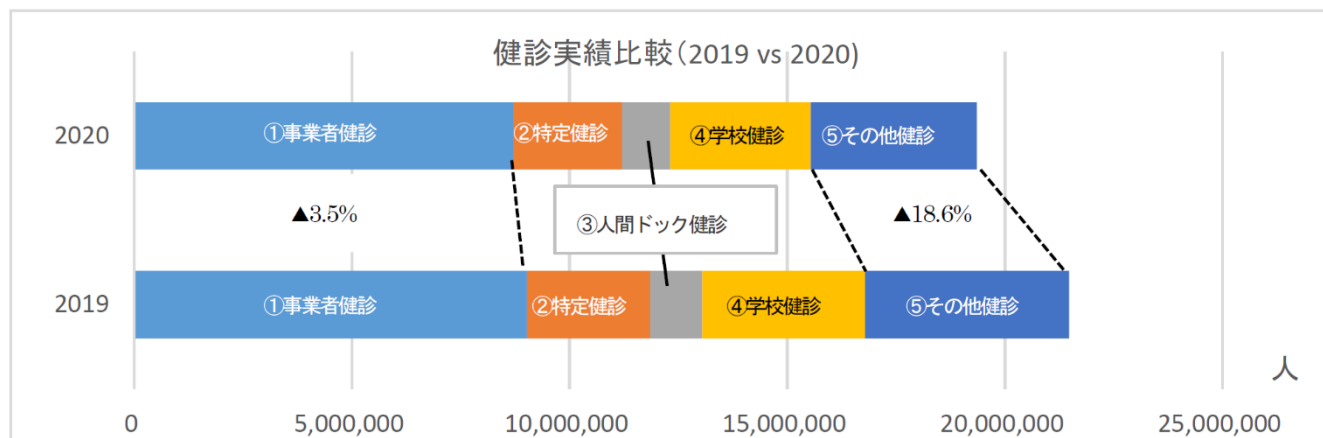


表1 2019 年度、2020 年度 項目別健診実績比較 (4-5 月期・6-3 月期・通年)

	4-5 月 実績比	6-3 月 実績比	通年 累積比	通年 実績差(人)
①事業者健診	38.7%	111.4%	96.5%	▲ 316,086
<u>②特定健診</u>	27.3%	100.1%	<u>88.6%</u>	▲ 322,398
③人間ドック健診	32.8%	101.3%	92.2%	▲ 93,977
④学校健診	9.1%	403.0%	86.2%	▲ 518,956
⑤その他健診	39.4%	90.2%	81.4%	▲ 869,434
合計	23.6%	117.6%	90.1%	▲ 2,120,851

※港区は、令和 2 年度特定健診実施期間を
8 月 1 日から 11 月 30 日まで短縮

コロナ禍の特定健康診査等について

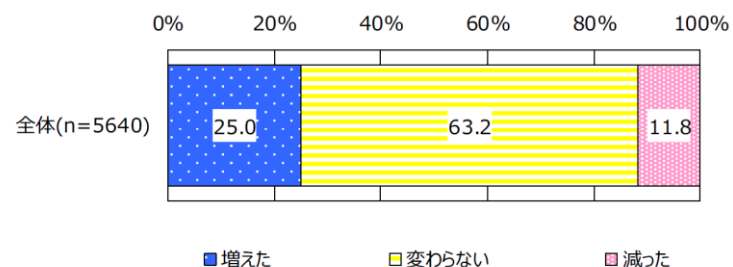
◆明治安田生命

「健康」に関するアンケート調査(2021.9)

- ・3人に2人が、コロナ禍で「ストレスを感じている」!
- ・4人に1人が、「体重が増えた」と回答!



■ 新型コロナウイルスの感染拡大以前と比べて、体重は増えましたか、減りましたか



	回答者数 (人)	増えた (%)	変わらない (%)	減った (%)
全体	5640	25.0	63.2	11.8
男性計	2820	22.9	65.8	11.3
20代	470	26.8	58.1	15.1
30代	470	21.5	67.4	11.1
40代	470	27.4	58.1	14.5
50代	470	24.9	64.0	11.1
60代	470	22.8	69.4	7.9
70代	470	13.8	77.7	8.5
女性計	2820	27.1	60.7	12.2
20代	470	21.3	58.9	19.8
30代	470	31.9	54.3	13.8
40代	470	30.0	60.0	10.0
50代	470	30.2	58.5	11.3
60代	470	26.4	63.4	10.2
70代	470	23.0	68.9	8.1

◆医学誌「British Journal of Sports Medicine」(2021年4月13日)

・2020年1~10月に、COVID-19と診断された米国の4万8,440人の成人患者を対象に調査

・新型コロナの流行に先立つ2年間に、運動不足の状態がずっと続いていた患者は、
運動ガイドラインで推奨された運動をずっと続けていた患者に比べ、

新型コロナの感染後に入院し、重症化し集中治療室での治療が必要となる可能性が高く、さらには死亡するリスクも高い